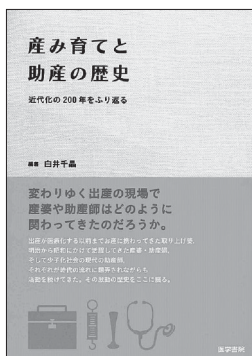


今月の3冊プラス1



産み育てと助産の歴史

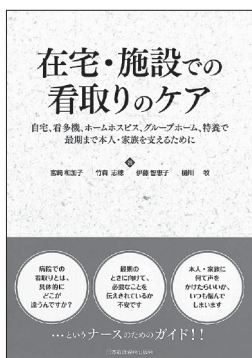
近代化の200年をふり返る

編著：白井千晶

発行：医学書院 TEL：03-3817-5657

定価：2800 円＋税

江戸末期から平成までの出産に携わる女性たちの歩みを史料から紐解く。出産が医療化する以前の“取り上げ婆”，明治から昭和の“産婆・助産婦”，そして現代の“助産師”は，変わりゆく出産の現場でどのように関わってきたのか。日本人のお産の近代化200年を振り返ることができる貴重な1冊。



在宅・施設での看取りのケア

自宅、看多機、ホームホスピス、グループホーム、特養で最期まで本人・家族を支えるために

著：宮崎和加子，竹森志穂，伊藤智恵子，樋川牧

発行：日本看護協会出版会 TEL：0436-23-3271

定価：2200 円＋税

病院以外の「さまざまな生活の場での看取り」について，看護ケアのポイントを紹介する。本人・家族への具体的な声かけ例や看取りにまつわるエピソードを多数掲載。地域包括ケアなどに関わる保健師が，看取りのケアを一から学ぶのにも適している。



リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術

著：菅間真美

発行：医学書院 TEL：03-3817-5657

定価：2200 円＋税

精神疾患をもつ当事者の「ストレングス＝強み」に焦点を当て，アプローチしていくストレングスモデル。本書ではその基本的な考え方や技術を丁寧に解説する。著者オリジナルのストレングス・マッピングシートは，退院調整や地域連携にも活用できるので，保健師も参考にしたい。



今日も私は、老人ホームの看護師です①

著：鈴橋加織

発行：リーダーズノート出版 TEL：03-5815-5428

定価：1100 円＋税

老人ホームの看護師である著者が，日々繰り広げられる出来事を描くコミックエッセイ。認知症看護や高齢者介護で起こることの「なぜ？」を，笑いながら楽しく学べる。看護や介護従事者はもちろん，入居者家族にもお薦め。